

ねりまユニオン

編集発行：練馬ユニオン編集委員会

連絡先：練馬区 練馬1-16-16-101

サポートねりま内

TEL 03-3994-2088

E-mail : support@nerimaunion.orgHP : www.nerimaunion.or/

練馬全労協第28回定期大会開かる

2022年7月19日（火）練馬区立勤労福祉会館大会議室において練馬全労協第28回定期大会が開催されました。今回の大会はコロナ感染第7派の拡大の様相の中、大会代議員数も縮小し議案説明も簡略し短時間の開催になりました。

大会は北村書記次長の司会で始まり、大会議長に練馬区職員労働組合の阿部一勝代議員を選出し議事を進めました。開催にあたり五十嵐副議長よりの挨拶があり、ウクライナの日も早い停戦平和、物価高による生活苦の話と7月10日の参議院選挙で改憲勢力が2/3の議席を占め改憲の動きも加速される。改憲阻止の意思を固める大会にもしていきましょうと挨拶されました。

来賓として東京全労協本木事務局長、練馬区労協楠井議長、練馬労連金田議長、北部労協小泉議長の方々からの挨拶はウクライナ情勢、改憲阻止と軍事費の増大反対、最低賃金の引上げ、区内労働三団体による憲法集会の共同行動の成果など連帯のご挨拶がありました。特別報告としてJAL 争議団宝地戸さんより闘いの報告がされました。



議事は真下事務局長の経過報告から始まり決算予算、会計監査報告、各単組報告と進み練馬全労協の重要懸案であった議長に五十嵐良副議長が就任し新体制の出発となりました。最後に五十嵐良新議長の「憲法改悪阻止、不当解雇撤回、8時間働けば生活できる社会を目指して」団結ガンバロウで終了しました。（Y. S）



6・11米軍横田基地反対集会・デモ決行

6月11日（土）に福生公園で、「6・11米軍横田基地反対集会・デモ」が、100名の参加者で開催されました。

集会では司会と開会挨拶で、東京全労協・本木事務局長からは、反戦平和・憲法改悪に反対し、沖縄と連帯してすべての軍事基地撤去を求めていこうと話しかけられました。

主催者挨拶で、東京全労協・大森議長からは、ロシア軍によるウクライナ侵略戦争を糾弾し戦争に反対していくと呼びかけられ、岸田政権は軍事拡大路線と日米同盟の強化で演習を頻繁に行っている。横田基地機能の強化に反対し、すべての軍事基地撤去を求め闘いの決意を述べられました。

連帯挨拶に「横田・基地被害をなくす会」「沖縄一坪反戦地主会関東ブロック」「横田

基地の撤去を求める西多摩の会」「立川自衛隊監視テント村」のそれぞれから、反対の発言がありました。次に連帯メッセージの紹介がありました。

決意表明は、東京清掃労働組合・江森委員長、地域ブロックからは南部全労協・柿本副議長、東京労組・渡辺書記長がそれぞれ決意を述べました。

最後に集会決議文採択は、練馬全労協・真下事務局長が提案し、全体で採択を確認して、大森さんの団結ガンバローで締めを行いました。その後デモに出発し、元気よくシュプレヒコールを行いながらデモ行進を行いました。

（練馬全労協・真下事務局長）



運動のすすめ

脂質と健康



皆さんは、1日の食事で、「脂質」をどれくらい摂っているか意識したことはありますか。

一般的に「太る原因」または、「不健康」とイメージを持たれがちな脂質ですが、私たちの身体にとっては欠かせない栄養素の1つになります。

今回はそんな脂質の種類や役割について取り上げていきます。

脂質は1gあたり9kcalと他の栄養素と比べて高いエネルギーを持ち、人体の細胞膜やホルモンの構成、脂溶性ビタミンの吸収を助ける役割があります。

食事で摂取する脂質には様々な種類があり、大きく「飽和脂肪酸」と「不飽和脂肪酸」の2つに分けられます。

飽和脂肪酸は常温で固体という特徴があり、肉類や乳製品等に含まれています。過剰摂取はLDLコレステロール値を上昇させ健康に悪影響を及ぼすとされていますが、摂取量の低下では脳出血のリスク増加に繋がると言われています。極端に避けるのではなく他の脂肪酸と合わせてバランスよく摂取することが大切になります。

一方で不飽和脂肪酸は常温で液体という特徴があり、主に植物油や魚（魚油）に多く含まれます。不飽和脂肪酸は

「一価」、「多価」の2つに分けられ、一価（オメガ9）に含まれるオレイン酸は血中のLDLコレステロール値を下げる働きがあります。また多価（オメガ3・6）に含まれるαリノレン酸やリノール酸は血栓予防や血圧を下げる働きがあります。これらは体内で合成する事が出来ない必須脂肪酸のため必ず食事から摂取する必要があります。

これらの脂肪酸には「SMP比」という摂取比率があり、飽和脂肪酸、一価、多価の比率が3:4:3であることが望ましいとされています。

現代では肉や卵から飽和脂肪酸を摂りすぎてしまう傾向にあるため、肉と魚を入れ替えて食事を摂るなどの工夫をし、必須脂肪酸である一価、多価を積極的に摂る事を心掛けるとよいです。悪者のイメージが強い脂質ですが絶対に身体に必要な三大栄養素のひとつでもあります。上手に摂取して健康づくりに役立てていきましょう。

特定非営利活動法人 ヘルスプランニング

「原職復帰」と「損害を補償する解決金」

実現へ闘いつづけます！

JAL 不当解雇撤回争議は7月に大きな状況の変化がありました。キャビンクルーユニオンは7月14日、乗員組合は7月22日に、JAL 不当解雇争議を終結することを発表し、2労組は11年7ヶ月に及ぶ闘いに終止を打ちました。

2018年5月に経営トップが解雇争議を解決したいと公表してから4年が過ぎましたが、この間全面解決に繋がる解決案は一切出されてきませんでした。今年の6月21日の株主総会でも、赤坂社長は「解決したいと思っている」と毎年の発言を繰り返し、「165名を特別扱いはできない。解決金は支払わない」と述べました。一方で「今、乗員組合とキャビンクルーユニオンと、解決に向けて交渉が進んでいる」と発言しました。

この発言の2日後に、会社から2労組に対して解雇争議の解決案として「業務委託契約による職務の提供」の回答が出されました。被解雇者労働

組合（JHU）に対しては差別的な対応がなされ、後日説明の場が設けられました。

業務委託契約の概要は、「委託金（報酬）は月額12万5千円、契約期間は2年間、委託業務は会社が委託する業務」という内容で、委託金・契約期間以外、仕事の内容や具体的な働き方については、「まだ検討中」としています。また、業務が適正に履行されなければ、報酬の減額や契約解除もあり得ることが、JHUとの交渉で確認されています。

業務委託契約は政府・財界が進めている「雇用によらない働き方」であり、労働関連法も適用されず、不安定雇用を拡大するもので、多くの労働団体から反対の声が上げられています。JHUは、この回答は被解雇者に対して働く権利の回復とは言えないだけでなく、12年も放置された解雇争議の解決になるのか疑問だとしています。

JHUは都労委にJALと国交省に対する不当労働行為救済の申立てをしています。2労組が終了した今、今後はJHU単独でのJAL解雇争議

になりますが、引き続き「原職復帰」と「損害を補償する解決金」の実現を求め、全面解決に向けて闘っていきます。

JAL被解雇者労働組合



東京都労働委員会(都労委)に「不当労働行為救済命令(団体交渉拒否)」を申立て記者会見 (2021年5月12日)



2022年7月13日国交省前宣伝行動

- ◆8月1日（月）12:00～13:00 JAL 本社前アピール行動@スカイウオーク
- ◆8月8日（月）12:00～13:00 JAL 本社前アピール行動@スカイウオーク
- ◆8月10日（水）12:00～13:00 国交省前宣伝行動
- ◆**8月11日（木・山の日）12:00～13:00**
羽田空港アピール行動 @第一ターミナル到着ロビー外側通路
- ◆8月12日（金）08:30～松山空港宣伝行動 主催：愛媛原告を支える会
12:15～13:00 岡山駅西口さんすて宣伝行動 主催：JAL 争議を支援する岡山の会
- ◆8月17日（水）12:00～13:00 国交省前宣伝行動
- ◆8月22日（月）12:00～13:00 JAL 本社前アピール行動@スカイウオーク
- ◆8月29日（月）12:00～13:00 JAL 本社前アピール行動@スカイウオーク
- ◆8月31日（水）12:00～13:00 国交省前宣伝行動

JAL 被解雇者労働組合 (JHU) TEL : 080—4905—3383